

至

誠

令和5年3月24日発



変化を糧に！

～3月24日修了式 校長講話より～

卒業式の式辞で、3年生はこの3年間、コロナの影響で多くの制限を受けたと話しました。これは、1・2年生の皆さんも同様だと思います。3月に入って、またコロナの影響による変化が起きようとしています。その1つは、「マスクの着用は本人の意思に任せる」ということです。人によって様々な考え方や捉え方があります。皆さんの中にもマスクをするかしないかについて、迷っている人も多いのではないのでしょうか。

思えばこの3年間、コロナの影響で様々な変化がありました。大変なこともたくさんありました。1ヶ月以上にわたる休校や時差登校。行事の精選や部活動の縮小を始めとする学校生活の制限。「マスク着用の厳守・3密を避ける・手指消毒」など、感染症対策の徹底。県をまたぐ移動を控えるといった行動制限等もありました。弥北中の名物だったランチルームでの会食も中止となりました。

しかし、その反面、学校教育活動にプラスの面もありました。「1人1台のタブレット機器導入などICT機器の普及」や「特別教室へのエアコンの設置」などです。本当にいろいろな変化がありました。

コロナの状況が変化するたび、「新しい生活」が始まりました。「新しい生活」がありすぎて、以前の生活が分からなくなってしまうこともありました。

これまでも、私たちの生活は、時代によって様々な変化がありました。その要因は、自然災害や人間による戦争、技術の発達など様々です。時には、大勢の犠牲者が出てしまった出来事もありました。しかし、そんな過酷な状況の中でも、人々は知恵を絞り工夫し試行錯誤しながら、危機を乗り越えてきました。皆さんも、制限のある大変な状況に負けることなく、友だち同士認め合い、支え合い、学び合って、授業や学校行事に参加してきました。私は、限られた条件の中で、できる限り精一杯のことをし、その中で楽しもうとする皆さんの姿に、いつも驚かされ感心させられました。コロナ禍によって、様々な面で我慢を強いられた皆さんだからこそ、家族や友達の大切さや、学校という場で当たり前の日常生活ができることのありがたさ、人とのつながりの尊さを知ることができたのではないかと思います。

4月からまた新しい生活が始まります。コロナの影響以外にも皆さんの生活に変化を与える事があるかもしれません。しかし、皆さんはこれまでの経験を基に、変化を乗り越え、立派に成長してきました。それらを糧に、さらに成長を続けていく姿を楽しみにしたいと思います。皆さんのさらなる飛躍を期待しています。